

令和４年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和高等学校）

(学校番号　s 4 7)

目指す学校像	中高一貫校として特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開し、明るく活力があり、高い志をもって輝き続ける生徒を育成する。
重点目標	1 中高一貫校の特性を活かした質の高い学びを展開する。 2 「文武両道」の理念に立ち、調和の取れた教育活動を進めるとともに、第1志望の進路を実現する。 3 国際理解教育の充実と開かれた学校づくりの推進を図る。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価（　月　日現在）			実 施 日　令 和　年　月　日	
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	
1	【現状】 中高一貫校の特性を活かした多様な教育活動を進め、内進生と高入生の切磋琢磨により進学実績も向上している。 【課題】 新学習指導要領や高大接続改革等を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」や「個別最適な学び」の実施、英語4技能の向上への取組、ICT活用等による学習方法の工夫改善を着実に進める必要がある。	・中高一貫校の特性を活かした指導の充実 ・中高連携した授業の充実 ・新学習指導要領や高大接続改革、ICT活用等を踏まえた多様な学習方法の工夫 ・教員の指導力向上と授業改善による質の高い学びの充実	①中高合同の教育活動を充実させる。 ②高校教員による中学授業などにより連携の充実を図る。 ③1,2年生に全員導入したiPadを授業で活用する。また、ICTを活用し在宅学習を支援する。 ④観点別学習評価等、新教育課程実施上の諸課題を検討する。 ⑤AL等による授業改善や大学入試改革に対応した学習指導を実施する。	①評価アンケートでの肯定的回答数(率)。 ②中高連携授業の充実が図られたか。 ③生徒のiPad活用状況。ICT等を活用した学習支援が図られたか。 ④観点別学習評価が円滑に実施できたか。 ⑤評価アンケート「授業の満足度」等の肯定的回答数(率)。				
2	【現状】 「第1志望を諦めない」高い志の育成を掲げ、学業、部活動、学校行事と「文武両道」にバランスの取れた教育活動を展開し成果を上げている。 【課題】 高い志の育成に引き続き取り組むとともに、「心のケア」の推進や、「18歳成人」を踏まえて「生き方まで含めた進路指導」の充実を図ることが求められる。 また、働き方改革を踏まえつつ、伝統校としての良さを継承し、学校行事や部活動等、生徒一人一人の学校生活の充実を支援していくことが必要である。	・高い志を育てる計画的で戦略的な学習指導、進路指導の実施 ・生徒、保護者と連携した、個に応じた指導の充実 ・働き方改革と部活動や学校行事の奨励と積極的支援 ・主権者意識を高め「生徒が主語となる」生徒指導の推進 ・「心のケア」を支える教育相談の充実	①「将来の選択」を充実させる観点から大学入学共通テスト「フル受験」を推奨する。 ②個人面談の充実を図り、生徒の意欲を引き出し、生徒や進路関連の的確な情報を提供する。 ③「部活動に係る活動方針」を踏まえ、積極的な活動支援を行う。 ④挨拶の励行、登下校の安全とマナー、いじめ防止、SNSの安全な利用等、生徒が自ら考えて取り組む生徒指導を推進する。 ⑤柔軟な日程調整等、生徒相談の充実を図る。	①大学入学共通テスト900点満点受験者数(率)。 ②個人面談を生徒一人につき年3回以上実施できたか。 ③部活動等の活動状況及び成果。 ④評価アンケート「生徒規律に関する項目」の肯定的回答数(率)。 ⑤不安を抱える生徒の学校生活を支援できたか。				
3	【現状】 国際理解教育は、コロナ禍で海外渡航が困難な中、留学生との交流やオンラインの活用等、安全に配慮しできることを模索し実行している。開かれた学校づくりは、連絡メール(e-pa)やHPを活用し、生徒・保護者への情報提供や教育活動の発信を行っている。 【課題】 生徒の安全に配慮しつつ、海外との交流や、国際的視野での教育活動を一層充実させていく必要がある。また、感染症対策に配慮しつつ、土曜公開授業、学校説明会やその他の地域連携の機会を活用し、本校の教育活動を積極的に発信していくことが求められる。	・国際理解教育の更なる充実 ・さいたま市の国際交流事業等の積極的な活用 ・積極的な学校情報の発信 ・地域連携の充実 ・生徒募集の充実	①安全な計画に基づき、国際交流事業を推進する。また、SDGs及びSTEAMSの視点を取り入れ、「総合的な探究の時間」等を活用して、国際的視野で教育活動を展開する。 ②さいたま市の事業等の活用による国際交流機会の提供。 ③e-pa、HP等で学校の情報を積極的に発信する。 ④コミュニティスクール（学校運営協議会）の推進 ⑤土曜公開授業や学校説明会の内容を充実させる。 ⑥校外学校説明会や中学校訪問等の機会を活用し、中学生や保護者への積極的な情報提供に努める。	①国際交流事業への参加生徒の満足度と無事故の実施。「総探」等における生徒の発表等の成果物。 ②市事業等への参加生徒数。 ③情報発信数と閲覧件数。 ④学校運営協議会の各学期1回の実施。 ⑤土曜公開授業の公開数、学校説明会の参加者数。 ⑥生徒募集活動の実施数。				